

## 第8回牧之原市学校再編計画策定委員会 次第

日時：令和2年12月17日（木）午後1時30分～  
場所：相良庁舎4階大会議室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 情報提供

4 議 事

○ 市民意見交換会の開催について

○ 学校再編計画素案について

5 副市長あいさつ

6 教育長あいさつ

7 連絡事項

8 閉 会

## 第7回学校再編計画策定委員会以降の意見聴取実施状況について

### 1 趣旨

広く市民意見を聴取するため、牧之原市PTA連絡協議会における意見交換、就園前保護者に対するアンケート及びインタビュー、インターネットでの意見募集についての実施状況について報告する。

### 2 意見聴取の状況

#### (1) 牧之原市PTA連絡協議会意見交換について

学校再編計画について、10月の意見交換会及び第7回学校再編計画策定委員会の状況を含め情報提供をし、グループワークにて意見交換を行った。

- ① 実施日時 11月18日(木) 午後7時から午後8時30分
- ② 実施場所 細江小学校多目的室
- ③ 参加者 市内12小中学校の校長及びPTA会長 計23人(1名欠席)
- ④ 主な意見
  - ・ 子どもも地域も教員もみんなが夢を持てる再編にできればと思う。
  - ・ まずはまちづくりのビジョンを示す必要があるのではないか。
  - ・ 再編により地域とのつながりがうすまることが課題。うすまらないやり方があるか。
  - ・ 小中一貫のメリット・デメリットがみんなに分かるようにする必要がある。
  - ・ 子どもの環境には数は大切なので、大きい学校がよい。不登校への対応等も必要。
  - ・ 若い世代の保護者の意見を聞きたい。

#### (2) 就園前保護者向け意見聴取について

就園前の子どもの保護者の意見を聴く機会を設けるにあたり、子育て支援センター(※)に来所する保護者に対して、アンケート及びインタビューを実施した。

※ 子育て支援センターは、3歳未満の子どもとその保護者が利用する施設で、市が運営している子育て支援センターは、榛原はさざんか、相良はい〜らの計2か所。現在は、感染防止対策により、午前・午後、それぞれの部で、榛原は6組/回、相良は5組/回と人数を限定して開所している。

- ① 実施日時 11月30日(月)から12月4日(金)までの5日間  
午前10時45分から午前11時15分頃までの約30分間
- ② 実施場所 子育て支援センター榛原(11月30日～12月2日)  
子育て支援センター相良(12月3日～12月4日)

### ③ 考察

- 学校再編計画を検討していることを知っている保護者は1割程度だった。
- 1～2歳児の保護者は、2030年に開校になった場合、自分の子どもが何年生かと考え、関心を持って話を聞いてくれた。
- 全体的に、今より大きな規模になることに対して反対はないが、9年間一緒であることへの不安がある者もいた。また、新しい学校というより、近年、不登校が増えていることから、選択できる学び方を求める声もあった。
- 今回は、牧之原小学校区の保護者が23人中5人いたが、単学級で存続することへの不安の声があり、距離が遠くてもクラス替えができる新しい小中一貫校に含めて欲しいとの意見が多かった。
- 子どもに身に付けさせたい力は、コミュニケーション能力がもっとも多く、次いで、創造力・発想力、その次が協調性、チャレンジ精神、聴く力・伝える力、やり抜く力・たくましさとなった。保護者は、他人と協力しながら、新しいことにチャレンジしてやり抜く子どもになって欲しいと思っているということであり、牧之原市が子どもに付けたい「次代を切り拓く力」と合致している。
- 通わせたい学校については、安心・安全は前提条件としてあるため、今回は選択肢には入れていない。保護者は、教育内容に重きをおいていると感じた。もっとも多かったのは、いろいろな体験をさせてくれる学校。次いで、キャリア教育（生き方教育）、その次にきめ細やかな対応となった。施設・設備のよさは5番目に重要視されている。ソフトを充実するためのハードとすることが大切であり、ソフトとハードの充実を両輪で行っていかなければならないことを再認識できた。

### (3) インターネットでの意見聴取について

10月に実施した市民意見交換会が感染防止対策のため、人数を限定して実施したため、より多くの市民に学校再編計画策定委員会の考え方を知ってもらおうとともに、広く意見を聴くことができるよう、インターネットを活用した意見募集をする。

- ① **実施期間** 12月3日（木）～1月15日（金）
- ② **実施方法** 牧之原市ホームページにて意見交換会の状況提供資料を動画として掲載し、メール、FAX、及び直接事務局に提出してもらうことにより意見をもらう。
- ③ **周知方法** 市公式LINE、まきはぐ により意見募集を周知

2020.11.18 牧之原市PTA連絡協議会 意見交換会記録

※本資料は、当日の各グループの協議メモより作成しています。

■ Aグループ

- 母校がなくなるのはさみしいが、人口減少は仕方がない。賛成を示している。  
相小の子どもはバスを使っている子どもたちがいる。高台というと総合グラウンドだろうか……。バスがたくさん並んで外国の学校のような状態になるのかな。2校+1校が適正な数ではないか。
- 視点はとって付けたような感じ。子どもが通いやすいようになることが大切。現在、職員の負担が大きい。それが少なくなるといい。子どもが通いやすくなると人口は増える。他市では人口が増えているのは魅力があるからだ。
- 萩間は、特異なところ。いろいろな体験活動を大切にしている、それを負担に思っていない。子どもから、萩間はなぜ危険なところに行かなくてはならないのか、それなら牧之原に上がるという話が出た。子どもファーストと良かれのことが書いてあるけど、一体どんな形になるのか。
- 「牧之原」のイメージは、学校は核、コミュニティの元になっている。3校になることで、多様な学校を目指すことができる。子どもが学校を選べる。高台に学校がなければ人が集まらない。教育で人は呼べる。同じ色の学校が2校できても特色がない。
- ソーシャルインクルーシブのように、いろいろな持ち味を持った子どもたちが一緒に学ぶことができる学校をつくる。色、特徴のある学校をつくらなくてはだめだと思う。おおぞら小学校のような。
- どの子ども生き生きと考えるといろいろな持ち味を持っている。不登校の子どもたちをどう受け止めていくのか。子どもが通えなくなる学校はどうなのだろう？
- 不登校の子が増えている。ゲームの普及によりコミュニケーション能力が不足している。地域との交流が減っている。地域の中で子どもを育ていくやり方がよい。
- いろいろな地区とのつながりが混ざり合う⇔つながりが薄まる？そこが課題では？オラが学校という感覚は当然うすまるだろう。
- 大きい学校を残して小さい学校を残す。リモート系で週何回かつなく、というやり方もあるのか？
- 市がまちづくりのビジョンを示さない限りだめ。トヨタのまちづくりのよ

うに、スズキのまちづくりのようになるといい。魅力的で住みやすいまちづくりをしないとだめ。学校再編は大きなまちづくりの変革。学校再編だけで語ることはできない。

- 牧之原市の魅力って何？海、自然、空港、JR・・・。今の中高生がどんな夢を持っているのか。
- 牧之原が勝つと他が負ける。外国人とよくコミュニケーションが取れるように英語力をUP。
- 市の政策は高台開発。そうしたらそこに学校がなくてはと思う。バスに乗り遅れたらどうなるのだろうか？

## ■ Bグループ

- 牧之原のこれまでのよさ(あいさつがすばらしい・地域から学べる・花壇)が大切にされる再編。地域に支えられている学校。
- 小中一貫校のよさ、課題がもっと知られるようにしたい。まだ市民には広がっていない。理解が浅すぎて意見と言われても持ちにくい。まずは市民に広がるのがみんなの学校になる一歩目。まだ一歩目を踏み出していない。
- どうすればみんなから大切にされる学校になるか。いやいやの気持ちのまま再編はよくない。みんなでいい学校をつくるという思いが大事。他人事にしない。
- 若い世代の保護者の意見を取り入れたい。
- 夢が持てる再編とは。施設、教育内容も大事。何より子どもたちがたくさんの人と関わりながら学びたいという思いが大事。
- 牧小中の思いも無視できない。牧小中の学区の子どもたち、地域の思いについては段階的に上げていくのがいいのではないか。高台が開発されて人が増えることが予想されている。
- 教職員の再編のイメージはまだ大きくない。コロナに対しての切実感が今は上回っている。先生たちが再編について前のめりにならないといけない。教職員の思いも大事にされたい。
- 再編を牧之原市民も菊川市民も納得して同じ思いになった時、10年後の新しい学校は”夢“でスタートできる。子ども、地域、先生の思いが三位一体となったときに再編成功。

## ■ Cグループ

- 難しい問題。菊川市の子は菊川市に行くのだろうか。コミュニティを考えると壁がある。
- 子どもの環境を考えると数が大切。お互いに影響を与えられる。いろいろな経験。広いグラウンド。学校は大きい方がよい。(大きければ大きい方が…)
- 牧之原は分かれてしまうことがかわいそう。かわいそうを払拭する何かが必要ではないか。
- グラス替えがないことはかわいそう。
- 高台開発、人口問題。
- 職員の研修の場にもなる。
- 人数。
- 夢のある話をしたい。
- バス通学。榛原のことを考えれば川小、細小が通えるところがいい。中心に持っていきたい。地盤を固めて。
- 牧小中は子どもファーストと言いながらコミュニティが先にきてしまう。だからこそ小中一貫校のメリットを伝えていってほしい。
- 新しい学校でも「おらが学校」の意識。地域の人を入れて地域全体で学校づくりをする。防犯意識を赤める。
- 再編でなくなった学校を活かしていく。牧小で宿泊体験、茶摘体験等。

## ■ Dグループ

- 牧小中は3町が集まっていて特殊。再編をすると地域としての活動がバラバラになってしまう。
- 牧小中の子どもたちみんなが相良中学校に行くということならどうか。
- それならまだ可能ではないか。ただ、地域の活動もあるので…。
- 地小はまた特殊なので御前崎市との折り合いを付けてほしい。地頭方地区はメリットはほとんどない。
- 学校へ通うにあたっての安全性、距離。子どもの負担にならないように、30分程度？
- 学力の差はどうか？一緒になるならメリットを活かしたい。
- 各学校独自のやり方はあるが、それをそろえてやりやすくなるのではないかな。
- 一貫になれば小→中への壁が少しは減るのでは？
- 小中一貫になれば教員としては流れが分かりやすくなる。
- 設備面でいい環境ができるのではと期待する。

- 地域での選択を増やしてはどうか。行事の絡み、関わり方が新しく入ってきてほしい。
- 積極的な意見交換をしてほしい。
- 各地域で子育てをしていくことは変わらない。
- 統合されたらどうなっていくのか。再編したらどうなるのか説明はしてほしい。
- 子どもたちのためのコミュニティが必要。
- いろいろな世界が広がるのでは。

## ■ Eグループ

- バス通学で体力低下が不安。榛中は自転車通学。
- 学校がなくなることできみしくなる。歴史が長い、文化が違う。
- 今後どのように周知していくか。うわさで広がると正確な情報が伝えられない。
- 実際に通う親世代の人たちに意見を聴く。(現在の1～2歳の保護者)
- 榛中の統合はどうだったか。五和中→金谷中の統合を経験した。
- 自分の学校は今年7人が私立中学校へ行く。小中一貫になったとき途中で抜けられるのか。私立はタブレットの配備等の対応が早い。そういうところを親は見る。
- 基本小中一貫は1つの敷地にあるが。
- 全国的な流れはあるのか。→ある。
- メリット・デメリットは？→中学生が小学生に気を遣う。廊下を歩くときに中学生が隅を通る。小学生が中学生の授業を見たり、部活を見たり、合唱を聞いたりして、中学生にあこがれを持つ。
- 教科担任制で理科や図工など中学校の先生が小学校へ教えに行く。
- コミュニティ・スクール等今の子どもたちにも大切なことを大事にしていきたい。
- PTA役員はどうやって選出するのか。活動はどうするのか。一緒か別々か。親の年代も30～50代くらいになる。今の学校はみんな知り合いで言いやすい。
- 少子化対策が必要。町としての魅力があるか。保育園などの受け皿づくりが大切。
- 具体がはっきりしなくイメージしにくい。
- 場所が問題になるだろう。

# ■就園前保護者アンケート結果

# 第8回学校再編計画策定委員会資料1-3

1	年代	20代	30代	40代	計
		4	17	2	23

2	性別	男性	女性	計
		1	22	23

3	地域	相良	菅山	萩間	地頭方	牧之原	計
		6	0	1	2	5	23
		川崎	細江	勝間田	坂部	不明	
		6	1	0	1	1	

## 4 身に付けさせたい力

項目	選択数
コミュニケーション能力	17
創造力・発想力	9
協調性	8
チャレンジ精神	8
聴く力・伝える力	8
やり抜く力・たくましさ	8
論理的な思考力	4
プレゼンテーション能力	4
課題発見・解決力	4
知識・理解力	3
集中力	2
体力	2
表現力	1
その他	1
リーダーシップ	0
専門的なスキル	0

## 5 通わせたい学校

項目	選択数
いろいろな体験	12
生き方教育	11
きめ細やかな対応	8
施設・設備がよい	6
外国語教育	5
防犯がしっかり	5
家から近い	4
先進的な教育	3
ICT教育	3
その他	1

R2.12月

**学校再編計画 未就園児保護者向けアンケート**

本日は、お忙しい中、説明の時間をいただきましてありがとうございます。今後の学習とさせていただきます。以下のアンケートにご回答をお願いします。

■ 年代 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上  
 ■ 性別 男性 女性  
 ■ 住まいる小学校区 相良 菅山 萩間 牧之原 地頭方  
 川崎 細江 勝間田 坂部

Q1 将来のために子どもに身に付けさせたいと思う能力は何ですか。以下の選択数から当てはまるものにシ点を付けてください。(3個まで)

コミュニケーション能力  論理的な思考力  協調性  
 創造力・発想力  チャレンジ精神  集中力  
 プレゼンテーション能力  聴く力・伝える力 (話し合う力)  
 リーダーシップ  やり抜く力・たくましさ  表現力  
 課題発見・解決力  知識・理解力  体力  
 専門的なスキル (科学技術・音楽等)  
 その他 [ ]

Q2 どんな学校に通わせたいと思いますか?以下の選択数から当てはまるものにシ点を付けてください。(2個まで)

施設・設備が充実している  家から近い   
 きめ細やかな対応してくれる  先進的な教育をしている  
 生き方を考える・必要な力をつけるための教育をしている  
 いろいろな体験をさせてくれる  外国語教育能力を入れている  
 ICT教育能力を入れている  防犯がしっかりしている   
 その他 [ ]

Q3 市内に学校が小中一貫校2つになり、ご自身の子どもが通うとしたら、新しい学校に期待すること・不安なことについてお書きください。

[ ]

ご協力ありがとうございました。

牧之原市教育文化部教育総務課



## 就園前保護者インタビュー 記録

### 201130 子育て支援センター榛原聞き取り 保護者6人

- 自分の友だちはみんな焼津に引っ越してしまった。子どもが小さいころは牧之原市にいますが、学校に上がるタイミングで出て行く。焼津はきれいで遊べる公園があっていいとママ友の間では最近人気。駅があるのはもちろんだけど、駅から遠い石津を選ぶ人も多い。牧之原市と何かが違うのだと思う。
- 牧之原市は子育て環境が整っていない。学校だけやっても人が来るのかと思う。図書館もない。小児科も少ない。産婦人科も焼津までいかないと産めない。公園も中途半端でとても子どもを遊ばせることができない。わざわざここを選ばない。利点といえば、自然が豊かなことと勤務先が近いこと。企業が多くてたくさん人が働いているのに、住むところに牧之原市を選ぶ人は少ない。なんでこんなに何もないのかと思う。子どもに優しくない。
- 前に住んでいたところは、図書館が充実していた。1フロア子ども図書館だった。牧之原市はもちろんだが、吉田町の図書館も本が少ない。ここらへんは何もない。
- 最近不登校が増えている。特別支援が必要な子も増えている。オンライン授業で自宅にいても同じように学べることができればいいと思う。自分の子どももどうなるか分からない。もし自分の子どもが不登校になってもオンライン授業等選択肢があれば安心。学びの保障をしてほしい。
- クラス数は多いほうがいいが、1クラスの人数を少なくできないか。自分の子どもは、今小学校1年生で35人。教室も狭く、目が届きにくいと思う。

### 20201201 子ども支援センター榛原 保護者5人

- 中学校に上がるときに不登校が減っても、それが小学校1年生のときに来るだけではないのか。
- 子どもたちは歩けばよい。今でもどこからも自転車で行っているので問題ない。ただ、小学生がスクールバスで中学生が自転車になったときは中学生がどう思うか。中学生は自転車がいいとは思いますが・・・。
- 1クラスの人数が少ない方がいい。
- 自分も夫も単学級の学校で育ったので、規模を大きくするメリットがあまり見えない。
- 市外から引っ越してきて牧之原小学校区に住んでいる。単学級に通わせるのが心配なので、学校に上がるときに学校区の変更はできないかと思っている。
- 回覧板で再編について回ってきた。牧之原の人口が増えると書いてあるが、増えると思えない。今と同じではないか。単学級に不安を感じていて、牧之原保育園に入れるとコミュニティが確立してしまうと聞き、今は下りてきてこちら(静波)に通わせている。人数は多いほうがいい。牧之原も新しい小中一貫校に入れてもらえな

いのか。

- スクールバス通学の方が安心。子どもの体力的に歩かせるというのもあるけど、最近是不審者も多く、長い距離を歩かせる方が心配。スクールバスで家の近くまで送迎してくれればそこまでは迎えに行ける。
- 地域の意見交換会などは新しく引っ越してきた人には声がかからない。お母さんたちを集めての意見交換会はやる予定があるか？

#### 20201202 子育て支援センター榛原 保護者5人

- 初めて聞いてびっくりした。
- 清水から引っ越してきた。小さい学校になり、商店街に行ったり、塩をつくったり、いろいろな体験をさせてもらえることに驚いたし、本当に素敵な取組だと思う。小さい学校はこんなにいいんだと思った。小中一貫校になっても充実した体験活動ができるといい。(相良小学校の保護者)
- スクールバスで通ったが、トイレが困った。距離が遠くなったときに道中のトイレが心配。
- 牧之原小学校区に住んでいるが、今の学校に通うとすると4Kmある。子どもが1年生になったときに歩いて通うのか心配。途中から歩道もない。近所づきあいもあるので、自分たちだけ他の学校という選択はないが、近所のみんなで行けるなら新しい学校でも今の学校でもどちらでもよい。ただ、4Km歩かせるのはつらい。
- 勝間田小学校、坂部小学校は昔から人数が少ないので一緒になるといいと思っていた。ただ、川崎小学校は多いと思っていたので、そんなに人数が減っていくことにびっくりした。メリット・デメリットがあると思う。みんないろいろな意見を持つと思うので、いろいろなお母さんたちの意見を聞きたい。意見交換会があるといい。

#### 20201203 子育て支援センター相良 保護者5人

- 2校はいいと思う。牧之原もどちらかに入ったほうがいいと思う。
- 1学年 10クラスの学校に勤めたことがある。クラス数が多い方が教員も助け合え、たくさんの目で子どもたちを見て、クラス崩壊などもなく、子どもの問題も少なかった。クラス数が多い方がいいと思う。
- 地域の思いもあるのは分かるけど、それではずっと変わらない。
- 多少遠くなっても安心・安全な学校がよい。
- 袋井市は小中一貫教育を道徳でつないだ。牧之原市は何でつなぐのか。⇒キャリア教育。9年間をつなぐために今研究している。
- 牧之原小中学校も入れて、市内で1校でよいのではないか。今の牧之原小中学校は部活動も選べない。部活動が心配。
- 9年間一緒だと逃げ場がないのではないか。

#### 20201204 子育て支援センター相良 保護者4人

- 自分が中学生のときに学校まで歩くと30分かかった。距離的には3kmほど。子どもが少なくなって登校班の人数も減っている。子どもが小学生になるときにその距離を歩かせるのが心配。特に下校は1人で帰ってくる。なんとかならないか。
- 相良小学校・相良中学校は津波がくるところなので、安全な場所に行くのはうれしい。跡地が公園などになるともったいない。
- 通学方法が心配。スクールバス、路線バスのどちらになるのか。待つところはあるのか。そこも検討してくれるか。  
⇒校数と場所が決まってからの検討となる。
- リモートが増えるのではないか。そうすると10年後の学校はどうなっているか分からない。学校自体の話を今しても仕方ないかもしれない。通学のことだけしっかりしてもらえれば。
- 海外のように子どもが自由な場所で自由な体勢で学べるといいと思う。
- スクールバスの保護者負担はあるのか。  
⇒校数と場所が決まってからの検討となる。
- 再編の話はいつから出ているのか。知らなかった。
- 地頭方の人たちがこちらに来てもらえるのはうれしい。
- 高校はどうなるのか。  
⇒ 高校は県になるので、牧之原市では分からないが、高校も再編計画をつくり順次進めてはいる。

## ●インターネットでの意見募集での意見一覧(受付順)

R2.12.10時点

	年代	性別	学校区	意見
1	70代以上	男性	菅山	<p>学校再編計画策定に向けた検討の経過の動画を市のホームページにて視聴しました。以下、思いつくまま、感じたままですが、お伝えさせていただきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.再編計画の基本的な考え方については同意いたします。</li> <li>2.小中一貫校構想そのものを市民により幅広く周知していくことが肝要。認知度がいまだに低く、ホームページ、広報まきのはらはもとより、関係者始め、幅広く市民に意見を求め、周知徹底していく活動が必要と考えます。</li> <li>3.再編計画は市行政のパラダイムシフトにつながる取組です。教育分野はもとより、商工業、福祉、医療、文化、スポーツ、レジャー等、視野の拡がりを伴う取組になります。</li> <li>4.教育資源の再編並びに集中投下を可能とする取組です。</li> <li>5.箱物発想からの脱却を進め、教育の中身やソフトウェア活用の徹底強化を望みます。中規模学年、学級ならではの特徵づくり。</li> <li>6.義務教育の主体者である現行の小学校(高学年)、中学校、高校の生徒たちの意見も計画に反映させていただきたく。</li> <li>7.現行12校の校舎や敷地(跡地)の利活用も並行して進めていただきたく。</li> <li>8.複数市町による協同設立校を含む隣接市町との協働も必要です。</li> <li>9.どこにいても全国レベルの教育内容が提供可能となるIT教育の促進を期待しています。</li> <li>10.全国の先進事例の調査や研究も今後必要となってきます。</li> </ol>
2	30代	女性	地頭方	<p>地頭方小学校は校舎も古く、もしも南海トラフ地震がきた際に海からとても近いので津波の被害等も心配です。将来子どもたちが安心して学校生活を送れるように移転や建替え等を検討していただきたいです。</p>
3	40代	女性	菅山	<p>来年相良中学校へ入学ですが、相良小学校もそうですが、海、河口もすぐ横で津波があれば逃げ場がありません。そんな危険な場所に通わせる親の気持ちは不安でいっぱいでした。</p> <p>今回の小中一貫と、統合を聞き、大賛成です！</p> <p>ただ、校舎が完成まで10年ほどとは、先の話で待ちきれない。校舎はしかたないですが、統合だけ早くしてほしい。相良中学校は牧之原中学校へ早く移るべきだと思う。</p> <p>バスのターミナルも菅山に移り、そこからスクールバスを出して欲しい。金谷小中学校はスクールバスを取り入れていてうらやましいです。</p>
4	40代	女性	菅山	<p>大賛成です。</p> <p>絶対に津波が来ない場所での開校をお願いします。</p>
5	40代	女性	牧之原	<p>牧之原小を無くさないでください。私は牧之原保育園から小中学校と通いました。高校過ぎてからは静岡に就職しましたが、やっぱり地元で子どもを育てたいと思い移住しました。牧之原小の子は素直で擦れていません。生活には不便があるかもしれませんが、車で走れば菊川だって、浜岡だって相良だって降りられます。不便だ、大変だという人がいるならここに住まなければいいと思っています。ただ、ここに住みたいって言う人は環境や災害などに安心と思って住んでいるんです。</p> <p>それを牧之原小をなくしてしまったら来た意味がありません。来年から1年生になる子がいます。今牧之原小に通えるっていうだけで目がキラキラしています。それは今までの友だちと離れることなく、かつ、新しいお友達ができるとあってワクワクしています。お願いします。なくさないでください。</p>

●インターネットでの意見募集での意見一覧(受付順)

R2.12.10時点

	年代	性別	学校区	意見
6	30代	女性	菅山	<p>説明動画を拝見させていただきました。                      5歳、3歳の子どもを持つ親として、学校再編は子どもたちに関係してくる話なのでとても関心があります。                      私の意見としましては、動画にもありましたように、榛原地区で1校、相良地区で1校が望ましいように思います。                      学校の場所についてですが、津波はやはり怖いので、高台に建設していただきたいです。菅山地区は、海拔も高く、なおかつ、波津や大沢など若い世代が多く住んでいる地区からも近いことから、菅山地区がよいのではないかと思います。1つの意見として聞いていただけたら幸いです。                      子どもの未来のために、よろしく願いいたします。</p>
7	40代	女性	坂部	<p>2校になることは致し方ないかなと思いました。しかし、旧榛原の校舎の建てる場所が、今は榛原中学校のあたりでは、浸水をよくしますし、危険だと思えます。土地が取れることも考え、坂部か勝間田などがいいのではと思います。                      今は、発達障害や知的障害のクラスも各校にないため、それらも各校につくっていただきたいです。そういう発達障害の子どもが通いやすい環境にしていだけるとうれしいです。</p>

学校再編計画素案への市民意見聴取機会について（案）

学校再編計画の素案について、市民意見を聴取する機会を設けるにあたり、案1を念頭に進めるが、コロナの感染状況により、意見交換会が開けない場合の代替案として案2についても併せて検討する。

【案1】市民意見交換会を榛原地区1か所、相良地区1か所、計2か所で1回ずつ実施する。

1 日時及び場所

	地域	開催日時			場所	参加人数(予定)
		1月28日	木	19:00～21:00		
1	榛原	1月28日	木	19:00～21:00	坂部区民センター	45人
2	相良	2月3日	水	19:00～21:00	相良史料館	50人

2 実施方法

- 10月の意見交換会同様、グループワーク形式で実施し、情報提供は委員長が行う。
- 会場は、感染症対策を十分に行うため、広い空間で実施し、人数は限定する。また、寒さ対策ができるエアコンが整備されている場所とする。

3 対象・人数（見込み）

- 自治会 各1～2名
- 小学校保護者 各4～8名
- 幼保育園保護者 各2～3名

各会場 45～50名

○相良					
学校区	区・町内会名	自治会	小学校	幼保育園	計
1 相良小学校区	相良区	1	7	あお保 2	22
	福岡区	1		相保 2	
	波津区	1		相こ 2	
	須々木区	1		す幼 2	
	大沢区	1		8	
	大江区	1			
	片浜区	1			
2 菅山小学校区	菅山区	2	5	3	10
3 萩間小学校区	中里区	1	5	3	13
	白井区	1			
	神寄区	1			
	西萩間区	1			
	東萩間区	1			
4 地頭方小学校区	地頭方区	1	5	地保 2	14
	落居区	1		地幼 2	
	豊岡区	1		4	
	新庄区	1			
	遠渡区	1			
5 牧之原小学校区	相良	1	5	3	13
	榛原	1			
	牧之原上	1			
	牧之原下	1			
	六本松	1			
計		18	27	21	50

○榛原					
学校区	区・町内会名	自治会	小学校	幼保育園	計
1 川崎小学校区	静波	2	8	静保・静保3	16
	川崎	2		6	
2 細江小学校区	細江	2	4	細保・み幼3	11
				6	
3 勝間田小学校区	勝間田	2	4	3	9
4 坂部小学校区	坂部	2	4	3	9
計		10	20	18	45

#### 4 全体の流れ

12月の会議で修正した素案を元に意見交換を行う。市民意見をもらった後、その意見を踏まえて素案をつくり上げ、3月下旬に答申する。

項目	12月 上 中 下	1月 上 中 下	2月 上 中 下	3月 上 中 下	R3度
再編計画 策定 委員会	会議		意見交換	会議 答申	
教育 委員会					意見聴取及び 各種調査を経て 計画を策定

#### 【案2】インターネットでの意見聴取

##### 1 実施方法

- 計画素案の説明を市のホームページで映像配信及び素案の掲載をして、メール、FAX等で意見をもらう。
- 市のホームページで意見募集をしていることの周知は、LINE、まきはぐ等で行う。
- 意見募集期間は1か月程度を想定する。

##### 2 対象

- 市民（市内に勤務する者を含む）及び学校組合地域に住んでいる者

##### 3 全体の流れ

項目	12月 上 中 下	1月 上 中 下	2月 上 中 下	3月 上 中 下	R3度
再編計画 策定 委員会	会議	会議	意見聴取	会議 答申	
教育 委員会					意見交換を含めた 意見聴取及び 各種調査を経て 計画を策定

### 【案3】意見交換会と各種意見聴取を並行して実施


#### 1 実施方法

- 意見交換会は、前回と主な対象者を変えて実施するとともに、誰でも計画素案について意見を言うことができるようインターネットでも意見を募集する。
- 特に、小さな子どもを持つ保護者に参加してもらえよう保・幼稚園、こども園を通して、また、乳幼児健診や子育て支援センター等でもチラシを配布してもらおう。
- 意見聴取前にホームページに計画素案等を掲載し、意見交換会前に内容を確認できるようにする。
- 全体への周知は、1月の行政連絡会、市ホームページ、フェイスブック、ライン、まきはぐで行う。

#### 2 対象

- 意見交換対象者：10～40歳代の市民及び中学生までの子どもの保護者
- 傍聴対象者：自由。ただし、前回の意見交換会の参加者には、開催案内をする。傍聴者にはアンケートにより意見をもらう。

#### 3 全体の流れ

項目	12月 上 中 下	1月 上 中 下	2月 上 中 下	3月 上 中 下	R3度
再編計画 策定 委員会	12/17 会議	中旬 会議	2月中旬 意見聴取	中旬 会議 下旬 答申	
教育 委員会	中学生・高校生意見聴取 				意見交換を含めた意見聴取及び各種調査を経て計画を策定



## スクールバス利用見込みについて（仮試算）

### 1 趣旨

学校を再編した場合のスクールバスの台数及び利用者数について、学校再編計画策定委員会での検討材料として、仮の距離を設定しシミュレーションを行った。

### 2 見込み数の算出方法

- (1) 令和2年7月末時点の住民基本台帳上の行政区ごとの人数を基本とする。
- (2) 小学生は3km以上、中学生は6km以上をスクールバス利用できる距離とする。（現在の通学補助の距離を参考に一律の基準とした。）
- (3) 便宜的に、相良地域は相良総合グラウンド、榛原地域は榛原中学校を基点として、地図上に円を描き、地域ごとの円の面積割合を地域人口に掛けて出している。
- (5) 以上の条件から、スクールバス利用者割合は、相良地域の小学生は41%、中学生は21%、榛原地域は、小学生が27%、中学生は2%とした。

### 3 2030年時点のスクールバスの台数及び利用者数（見込み）

2030年の児童生徒の見込み人数を基本に、大型バス（補助席含・運転席除44人。補助席・運転席除36人乗車可能）の場合で、14～16台が必要との見込みを算出した。

#### ■大型スクールバスの場合

地域	分類	計算式	乗車数	定員/台	必要台数
相良	小学生	$705 \text{ 人} \times 41\% = 289 \text{ 人}$	374 人	44 人	9 台
	中学生	$403 \text{ 人} \times 21\% = 85 \text{ 人}$		36 人	10 台
榛原	小学生	$759 \text{ 人} \times 27\% = 205 \text{ 人}$	213 人	44 人	5 台
	中学生	$419 \text{ 人} \times 2\% = 8 \text{ 人}$		36 人	6 台

※ 地頭方小学校、牧之原小・中学校を相良地域に含んだ場合。

## 学校再編計画素案のたたき台の作成にあたって

第7回学校再編計画策定委員会での委員長からの指示により、事務局が学校再編計画素案のたたき台の作成を行うこととなった。事務局として、次の視点で作成をさせていただいた。

これはあくまで、第8回学校再編計画策定委員会で素案について議論するためのたたき台であり、これを元に、考え方や視点、思い等を協議して加除修正をする。

- 素案のたたき台は、学校再編計画策定委員会での協議内容、会議・視察資料として提供した資料等をベースに、国の方針（小中一貫教育に適した学校施設のあり方、これからの小・中学校施設のあり方）等の内容との整合を取っている。
- 計画素案として作成しているため、提言の書き方でなく、計画的な表現としている。
- 計画素案内で明確にできない部分（学校の場所など）については、いつまでに、誰が、どういう形で判断するのかが分かるようにしている。
- 策定委員会の答申後に検討するもの、または教育委員会以外が主体となって検討するものについては、配慮すべき事項として載せている。
- 今回の会議では、素案の内容について十分議論をしていただきたいため、基本データを載せる II「教育をとりまく環境」については、載せる項目のみを示している。
- 専門用語や具体例等については、必要に応じて注釈対応とする。（今回は、イメージとして1か所注釈を付けている。）

# 牧之原市学校再編計画（素案）～魅力ある新しい学校を目指して～（仮題）

## I 目的

## II 教育をとりまく環境

- 1 社会情勢・国の方針等
- 2 子どもたちの状況（学校アンケート・学力調査等）
- 3 人口・児童生徒数の推移及び推計
- 4 学校設置状況（学校組合も入れる）
- 5 施設の現状（築年数等）

## III 基本的な考え方

- 1 学校再編計画の基本方針
  - （1）目指す教育と施設の考え方
  - （2）目指す新しい学校像
- 2 学校規模
- 3 学校区（学校数）
- 4 学校の形態
- 5 学校の場所
  - （1）校地選定の考え方
  - （2）選定したエリア
- 6 施設の機能
  - （1）「学ぶ」
  - （2）「使う」
  - （3）「働く」
  - （4）「交わる」
  - （5）「安心・安全」

## IV 推進方法

- 1 進め方
- 2 配慮すべき事項
  - （1）再編する際子どもへの支援・ケア
  - （2）通学路及び通学方法の安全性の確保
  - （3）地域性の継続
  - （4）民間力の活用検討
  - （5）施設複合化の検討
  - （6）既存施設の利活用等の検討
  - （7）学校組合構成市との協議
- 3 スケジュール